

国土交通大臣

石井 啓一 様

国の施策等に関する  
提案・要望書

(平成28年1月)

鳥取県

# 高速道路ネットワークの早期整備について

## 《提案・要望の内容》

### 1 高速道路ネットワークの早期整備

国の骨格を形成する高速道路ネットワークは、『地方創生の道』であり、更には地域医療や災害発生時において『命の道』として機能する波及効果の大きい基幹インフラであることから、山陰道、山陰近畿自動車道等の高速道路ネットワークのミッシングリンクの早期解消と、計画的な整備が進められるよう所要予算を重点配分すること。

#### (1) 高速道路等の早期整備

##### ①山陰道（「鳥取西道路」・「北条道路」）の調査及び整備促進

- ・「鳥取西道路」全線の平成29年度一体的供用

「鳥取西IC～青谷IC」については、供用時期が未公表の「鳥取西IC～吉岡温泉IC」も含めて、平成29年度の一体的な供用が図られるよう整備を促進すること。

＜平成30年度に予定されている出来事＞

- ①大山開山1300年の祭典 ②全日本マスターズ陸上競技大会 ③山陰海岸ジオパークの再認定
- ④鳥取県立中央病院の改築・鳥取市の「中核市」への移行 ⑤気高道の駅(仮称)のオープン
- ・「北条道路」における交通安全対策の早期整備及び全線自動車専用道路としての早期事業化
- 近年頻発する重大な交通事故に対する交通安全対策(湯梨浜・北栄地区の交差点立体化)の早期供用と、早期事業化に向けた都市計画のための調査等を進めること。
- ※平成35年度には「ねんりんピック」開催が予定され、広域的な交流人口の増大が想定される。

##### ②山陰近畿自動車道の調査及び整備促進

- ・「岩美道路」の整備促進を図ること。
- ・「山陰道」・「鳥取自動車道」・「山陰近畿自動車道」の3路線を連結する「山陰道～鳥取市福部町」間の事業化実現に向けて、計画段階評価を進めること。

##### ③中国横断自動車道岡山米子線の当面着工しないとされている「米子～米子北」を含む「境港～米子市」の道路のあり方検討の促進

中海圏域の広域的な道路ネットワークの充実・機能強化の観点から、米子・境港地域と道路のあり方の検討を促進すること。

#### (2) 補完する地域高規格道路の整備

##### ○地域高規格道路の整備促進

- ・高速道路ネットワークを補完する地域高規格道路のうち、「江府三次道路」の一部であり直轄権限代行で整備中の「鍵掛峠道路」について、特に事業区間全体の進捗に影響を及ぼす県境部のトンネル工事に早期着手すること。
- ・整備中の「北条湯原道路」、「江府三次道路」の一部である「倉吉道路」、「倉吉関金道路」及び「江府道路」について、整備促進を図ること。

### 2 米子自動車道、鳥取自動車道等の暫定2車線区間の4車線化

県内高速道路ネットワークの整備は着実に進み、開通した高速道路の沿線では、企業進出、観光振興など多大な効果が現れ始めている。

しかし、本来4車線であるべき高速道路が、県内は僅か1割程度しか整備されておらず、重大事故の発生やそれに伴う通行止め頻度が高く、安全性・信頼性に課題がある。

#### 【県内の高速道路における死傷事故状況】

- ・平成27年には対向車線へのはみ出しによる正面衝突で4件6名の尊い命が失われる痛ましい死亡事故が連続して発生するなど、年々増加している。

については、多発する暫定2車線区間での死傷事故の重大性に鑑み、対面通行に起因する重大な事故や通行止めを防止し、高速道路ネットワーク本来の安全性・定時性を確保するため、暫定2車線区間の4車線化を促進すること。

- ①米子自動車道（蒜山IC～米子IC）の暫定2車線区間の4車線化及び当面の対策としての付加車線の設置
- ②鳥取自動車道における付加車線の早期供用と暫定2車線区間の4車線化
- ③山陰道（米子道路）における付加車線の早期供用

《参考》

○県内高速道路等の整備状況

	計画延長	H26 年度末		鳥取西道路供用時	
		供用延長	供用率	供用延長	供用率
山 陰 道	88.0km	57.0km	64.8%	74.5km	84.7%
鳥 取 自 動 車 道	38.4km	38.4km	100.0%	38.4km	100.0%
米 子 自 動 車 道	48.2km	27.3km	56.4%	27.3km	56.4%
山陰近畿自動車道	30.0km	8.2km	27.3%	10.1km	33.7%
合 計	204.6km	130.8km	63.9%	150.2km	73.4%

※山陰近畿自動車道の岩美 IC ～浦富 IC 間 1.9km は H27 年度末供用予定であり、鳥取西道路供用時には既に供用済み。

○県内高速道路等の付加車線状況

(単位：km)

	県内計画延長	県内供用延長	うち付加車線延長
山 陰 道	88.0	57.0	6.8
鳥 取 自 動 車 道	38.4	38.4	1.1
米 子 自 動 車 道	48.2	27.2	8.2
山陰近畿自動車道	30.0	8.2	0.5
合 計	204.6	130.8	16.6

※整備率 : 供用延長 / 計画延長 = 63.9%

※4車線化の割合 : 付加車線延長 / 供用延長 = 12.7%

※「県内高速道路等」には山陰近畿自動車道を含み、各延長はおおよその数値である。

○県内高速道路での事故発生状況 (件数)

		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	合計
鳥取道	全事故	7	4	8	4	10	6	39
	：うち死亡				1	1	1	3
山陰道	全事故	12	10	18	23	16	28	107
	：うち死亡		1	1	2	2	2	8
米子道	全事故	12	7	5	6	10	5	45
	：うち死亡	1		1			1	3
合計	全事故	31	21	31	33	36	39	191
	：うち死亡	1	1	2	3	3	4	14

※H27年山陰道で発生した死亡事故1件を除き、残る13件の死亡事故は全て暫定2車線区間で発生  
 ※事故件数は県警(交通規制課)調べ

# 社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の 重点的な配分について

## 《提案・要望の内容》

### 〔社会資本整備総合交付金〕

- 地域の実情に配慮し、各自治体で取り組む地方創生の後押しとなるよう必要な財源を確保するとともに、特に財政力の弱い地方に重点的に配分すること。

### 〔防災・安全交付金〕

- 国土の強靱化を推進するため、住民の命と暮らしを守る事前防災・減災対策と暮らしの安全・安心を確保する安全対策等について、地域の実情に即して確実に取り組むことができるよう、必要な財源を確保するとともに、特に財政力の弱い地方に重点的に配分すること。

## (参考)

### 〔社会資本整備総合交付金〕

- ・当県では、三徳山・三朝温泉の日本遺産認定や大山開山1300年などの観光資源の活用、鳥取道や山陰道の開通によるIC周辺への企業進出及び米子駅周辺の賑わい創出など、地方創生に向け各自治体で取り組んでいるところであり、平成27年10月27日に県下全ての市町村において総合戦略が策定された。
- ・しかし、地域の社会資本整備を総合的に支援する目的で創設された社会資本整備総合交付金は全国的にも縮小傾向にあり、当県の平成27年度当初予算においては、対前年比0.90と全国平均0.99に比べて下回り、地域の実情や要望等に対応した配分となっておらず、今後、地方創生の取り組みに支障が出るのではないかと危惧している。

#### <観光資源の活用を支援>

三徳山・三朝温泉(H27.4日本遺産認定) ⇒ 県道鳥取鹿野倉吉線(三朝町)  
氷ノ山周辺観光 ⇒ 国道482号春米バイパス(若桜町)

#### <経済活動(企業誘致等)を支援>

山陰道、米子自動車道のICアクセス ⇒ 国道181号岸本バイパス(米子市~伯耆町)  
地域高規格道路のICアクセス ⇒ 県道倉吉由良線(倉吉市)

#### <地域づくり・まちづくりを支援>

気高道の駅(仮称) ⇒ 県道郡家鹿野気高線(鳥取市)

### 〔防災・安全交付金〕

#### <水害・土砂災害や大規模地震に備えるための防災・減災対策、インフラ老朽化対策、通学路の安全対策等>

塩見川等河川事業、湯山海岸等海岸事業、土砂災害防止のための砂防事業、道路施設・河川管理施設・港湾施設等の計画的な維持管理・更新、橋梁の耐震補強、緊急輸送道路等の落石防止対策、未改良区間の改良等、通学路の合同点検に基づく安全対策 等

※平成27年10月に「鳥取県国土強靱化地域計画」(骨子)を策定

パブリックコメントを経て年度内に策定予定

#### <駅周辺整備によるバリアフリー化の推進>

- ・米子駅 ⇒ 米子駅南北自由通路等整備事業(米子市)